

平成23年度千臨技精度管理報告 微生物

# フォトサーベイ

千臨技微生物研究班 精度管理担当

村田生太 静野健一 里村秀行

中沢武司 高橋弘志

## 【設問1】

5歳、女。1週間続く鼻汁、咳嗽により受診。  
体温38.3、肺門部陰影の軽度増強を認める  
が明らかな肺炎所見は認めない。

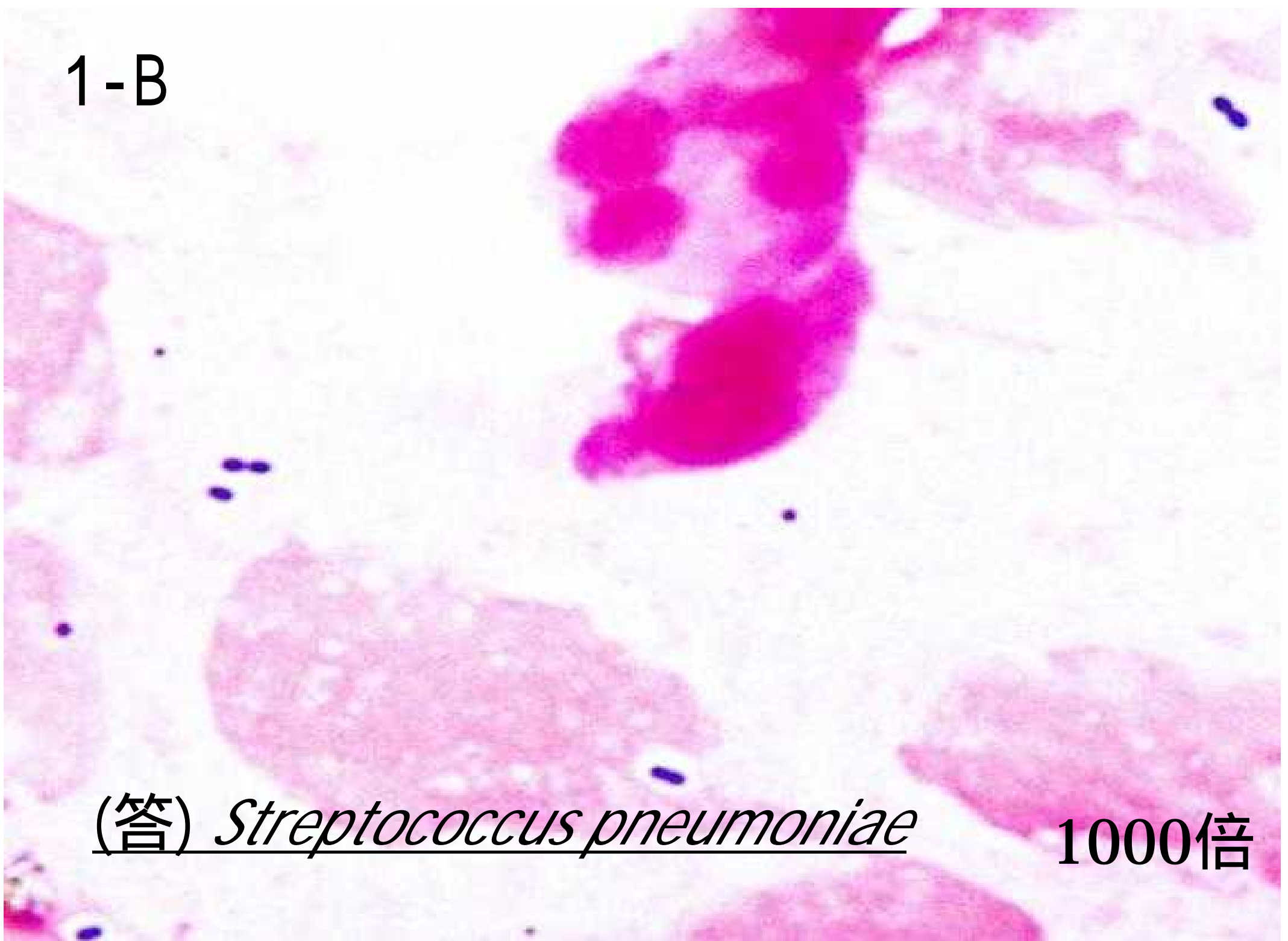
洗浄喀痰の塗抹標本をグラム染色し、100  
倍、1000倍での所見をPhoto 1-A,1-Bに示す。  
Photo 1-AにてGeckler分類を行い1-Bの鏡検  
像から推定菌種を報告して下さい。

1-A

(答) Geckler 5群

100倍

1-B



(答) *Streptococcus pneumoniae*

1000倍

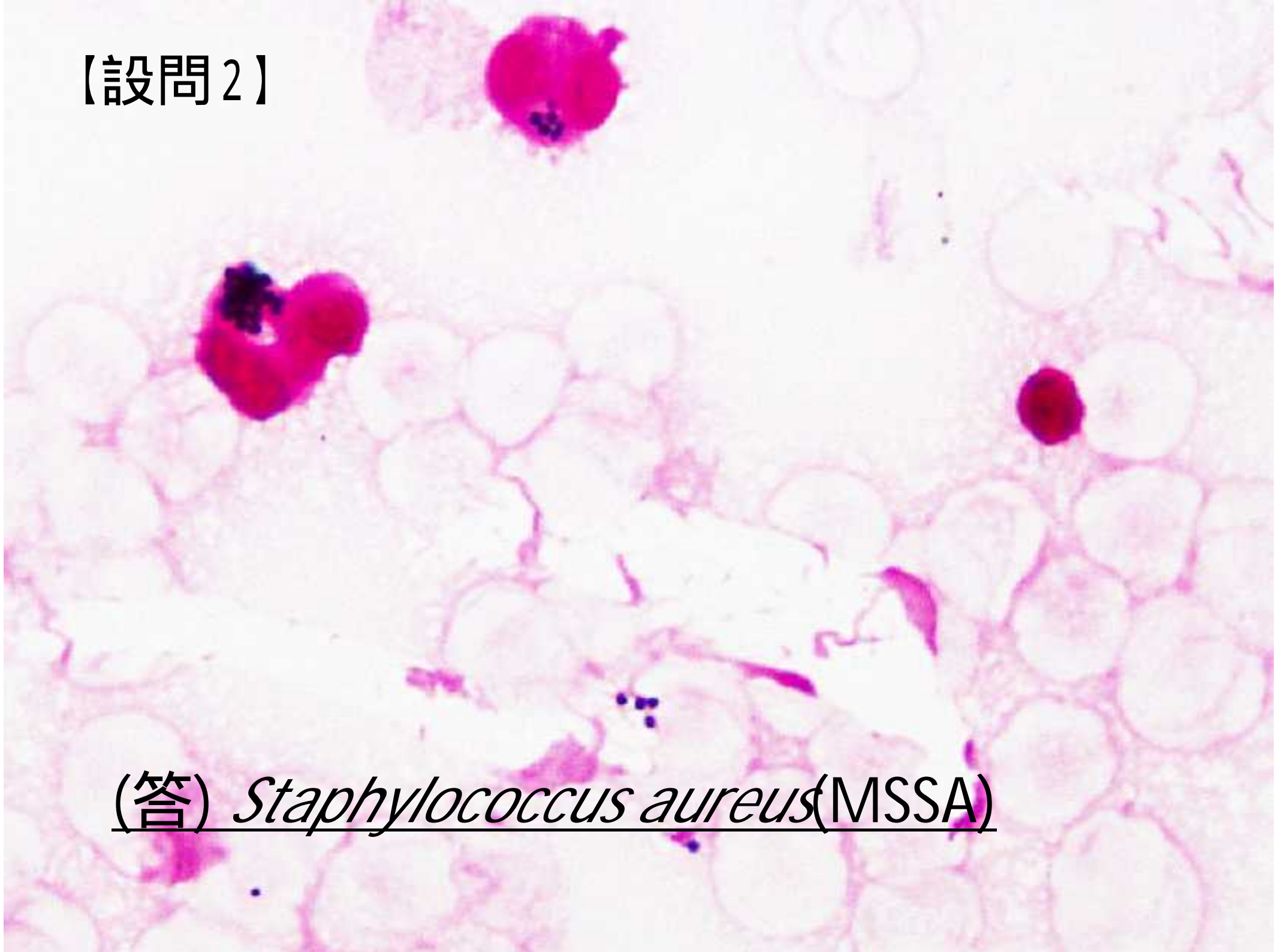
## 【設問2】

52歳、男。両下肢のしびれ、腰痛を主訴に受診。MRIにて腰部脊柱管内に占拠病変を認め、緊急手術を行った。術中、硬膜外膿瘍と診断され、緊急塗抹検査が依頼された。

提出された膿のグラム染色所見Photo2より推定菌種を報告して下さい。

【設問2】

(答) *Staphylococcus aureus*(MSSA)

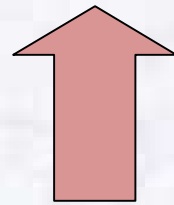


## 【設問3】

76歳、男。心不全、腎不全、貧血、肺炎にて入院。糖尿病(+)。慢性心不全に対する薬物療法実施中、入院22日目に熱発したため血液培養実施。

BACTEC9120(日本ベクトンディッキンソン)にて培養したところ、好気ボトルのみが培養4日目(83時間後)に陽性となった。グラム染色所見Photo3より推定菌種を報告して下さい。

【設問3】



(答) *Helicobacter cinaedi*



## 【設問4】

4歳、男。発熱翌日に左足の跛行を認め、さらに翌日には歩けなくなり、受診。化膿性関節炎を疑い、関節穿刺液の緊急塗抹検査が依頼された。  
穿刺液のグラム染色所見Photo4より推定菌種を報告して下さい。

【設問4】

4-A



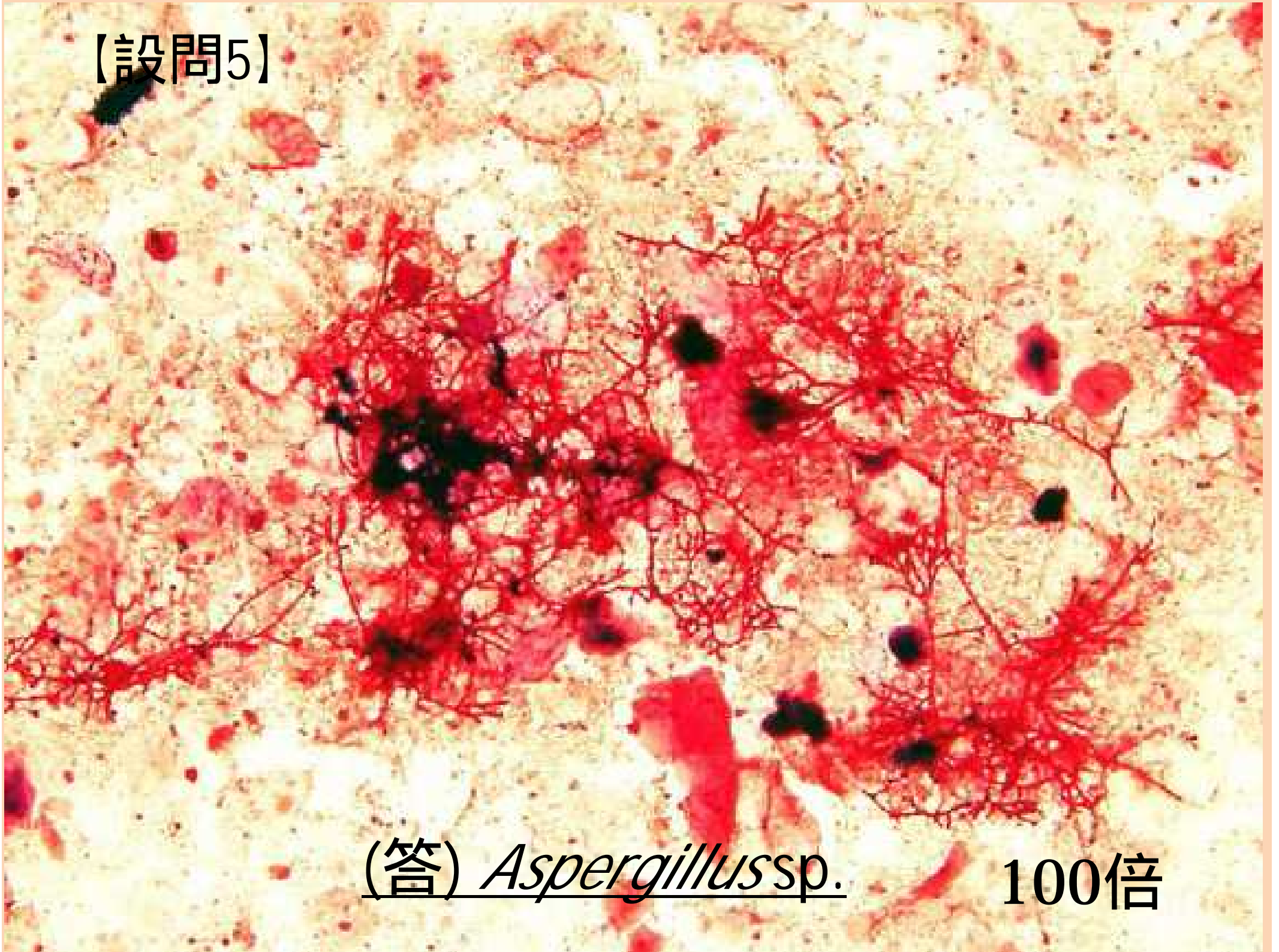
(答) *Haemophilus influenzae* type b

## 【設問5】

60歳男性、2009年12月多発性脊椎圧迫骨折より骨髄腫を診断。5/28呼吸苦と胸部Xpにてconsolidationを認め入院となる。

血液生化学検査：白血球数  $123 \times 10^2 / \mu\text{l}$ 、CRP 7.9mg/dl。患者背景及び入院時採取した喀痰のグラム染色Photo5の鏡検像より推定菌種を報告して下さい。

【設問5】



(答) *Aspergillus* sp.

100倍

# <成績>

試料 / 点数			A(10点)	B(5点)	C(0点)	計
試料1	1-A	Geckler5群	35(87.5%)	0	5(12.5%)	40
	1-B	S.pneumoniae	40(100%)	0	0	40
試料2	2-A	S.aureus(MSSA)	38(95%)	0	2(5%)	40
試料3	3-A	H.cinaedi	35(87.5%)	5(12.5%)	0	40
試料4	4-A	H.influenzae	30(75%)	0	10(25%)	40
試料5	5	Aspergillus sp.	32(80%)	2(5%)	6(15%)	40

総合得点	50	45	40	35	30	計
施設数	16	8	11	2	3	40
%	40	20	27.5	5	7.5	100

# sp. と spp. について

sp. はspecies の単数形

spp. はspecies の複数形

- ・塗抹検査の問2のブドウ球菌属を推定した場合  
同定までしていないが、ある1菌種に同定されるので  
報告する場合は、Staphylococcus spp. ではなくて  
Staphylococcus sp.となる。
- ・硬膜外膿瘍の原因菌種として、黄色ブドウ球菌以外の  
ブドウ球菌種がある場合は、ブドウ球菌の複数種で  
あるため、Staphylococcus spp.となる。